

施策評価(令和元年度)

1 基本項目

基本目標	1	生涯を通じて学び育つまち
基本施策	2	学校教育の充実と次代を担う子ども・若者の育成
施策	4	子ども・若者
基本方針		
子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう、支援します。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
子どもや若者の育成支援	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
学童クラブ事業の充実	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
児童館事業の充実	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
放課後子ども教室の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策4「子ども・若者」では、4事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう、支援する」ことであり、「子どもや若者育成支援」では、市公式サイトで支援機関を周知するとともに、講演会及び相談会を実施することで、悩みを抱える子どもや若者に対し、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう支援に取り組んだ。</p> <p>また、「学童クラブ事業の充実」及び「児童館事業の充実」では、杏林大学との連携事業に取り組んだほか、児童館及び学童クラブ事業充実のための運営方法の検討会の実施や、緊急性を基にした施設修繕を実施するなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>

1.基本項目		作成部署	子ども家庭部		児童青少年課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法 プロジェクト
00 子どもや若者の育成支援		平成 29 年	継続	自治事務(市独自)	直営
01	ひきこもりに関する講演会				
02	ひきこもりに関する相談会				
03					
04					
05					
関連課		子育て支援課			
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち		施策区分	4	子ども・若者	管理No. 1

2.事業の概要

施策の基本方針	子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう支援します。
事業内容	若年無業者(ニート)やひきこもりなど、若者の自立をめぐる問題や、児童虐待、いじめ、不登校、有害情報の氾濫などの課題に対応するとともに、子ども・若者支援地域協議会(仮称)の設置を検討します。また、ひきこもり等の問題を抱える若者やその家庭を支援するため、講演会や相談会などを実施します。
根拠法令	子ども・若者育成支援推進法
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	ひきこもりに関する講演会の実施(一般向け)	同左(一般向け)	同左(一般向け、民生・児童委員向け)	同左(一般向け)
	子ども・若者支援地域協議会(仮称)の設置検討	ひきこもりに関する相談会の実施 子ども・若者支援地域協議会(仮称)の設置検討結果の反映	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	113	200	225	200
人件費(係長職)	193	193	193	193
人件費(主任・主事職)	158	158	158	158
総事業費(合計)	464	551	576	551
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	464	551	576	551
財源内訳(合計)	464	551	576	551

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 10 円
 イ 対象者 11,492 人における1人あたりのコストは、 48 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者: 子ども・若者(15歳~34歳まで)の人数

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容

②活動実績

ひきこもりに関する講演会を2月1日(土)に開催し、14名参加し、ひきこもりに関する相談会を東京都の事業を活用して実施し、4日間で3名の相談者がいた。
子ども・若者支援地域協議会については、新たに設置することなく、既存の支援機関を活用する等、市の実情に即した運用を行っていくとの結論に至った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	200	-	200	73	36.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	50H	1人	50H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○ひきこもり講演会の実施 ○ひきこもりに関する相談会の実施 ○子ども・若者支援地域協議会(仮称)の設置検討		○ひきこもり講演会の実施 ○ひきこもりに関する相談会の実施 ○子ども・若も支援地域協議会(仮称)の設置検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

市公式サイトで支援機関を周知するとともに、講演会及び相談会を実施することで、悩みを抱える子どもや若者に対し、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう支援することができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

ひきこもりなど自立をめぐる問題を抱える若者やその家庭を支援するため、ひきこもりに関する講演会や相談会を引き続き開催するとともに、広報紙や市公式サイトで支援機関等を周知していく。

1.基本項目	作成部署	子ども家庭部		児童青少年課		
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 学童クラブ事業の充実	昭和 57 年	継続	自治事務	直営	○	
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課						
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち	施策区分	4	子ども・若者	管理No.	2	

2.事業の概要

施策の基本方針	子どもや若者が、社会の一員として、心豊かに健やかに成長するよう支援します。
事業内容	経営形態や運営方法について検討し、家庭に代わる児童の生活の場となる学童クラブ事業の充実に努めます。
根拠法令	
条例	羽村市学童クラブ条例 他
要綱等	羽村市学童クラブ条例施行規則

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画			
		令和元年度		令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	学童クラブの運営・管理 12学童クラブ	同左	12学童クラブ	同左	12学童クラブ
	杏林大学連携事業の実施	同左		同左	
	プロジェクトチームによる運営方法の検討	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	同左 検討結果の反映		同左

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	480H	1人	480H	1人	480H	1人	480H
主事・主任職	1人	1,500H	1人	1,500H	1人	1,500H	1人	1,500H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	95,447	99,696	-	-
人件費(係長職)	2,307	2,307	2,307	2,307
人件費(主任・主事職)	4,733	4,733	4,733	4,733
総事業費(合計)	102,487	106,736	7,040	7,040
国庫支出金	23,071	26,189		
都支出金	28,776	26,189		
受益者負担額	28,791	27,229		
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	21,849	27,129	7,040	7,040
財源内訳(合計)	102,487	106,736	7,040	7,040

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	1,921	円
イ 対象者	636	人における1人あたりのコストは、	167,824	円
ウ 成果(物)		の出来高		における1
				のコストは

※ 対象者: 市内12学童クラブの合計定員数

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

杏林大学との連携事業として、令和元年9月26日に研修会を実施し、学童クラブ職員16名が参加した。また、令和2年2月20日に学童クラブ支援員を対象に学習会を実施し、支援員35名が参加した。「児童館及び学童クラブ事業の運営について充実のための運営方法の検討会」を7月と9月に2回開催し、労務管理を中心とした業務委託を検討したが、費用対効果を鑑み、これまでと同じ運営形態を継続するとの結論に至った。

③投入実績

決算の内訳 (単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	99,696	5,900	105,596	97,791	92.6%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	480 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	1,500 H	1人	1,500 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○学童クラブの運営・管理 ○杏林大学連携事業の実施 ○運営方法の検討		○学童クラブの運営・管理 ○杏林大学連携事業の実施 ○運営方法の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性 (必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性 (手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性 (成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

学童クラブの運営に必要な人材の確保、研修の実施、感染症防止対策などを行い、年間を通じて市内12か所の学童クラブを適切に管理・運営することで、放課後における児童の安全な生活の場を提供することができたと捉えている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

一部の地域において、一時的に待機児童が生じる場合があることから、当該児童の受け皿となる放課後サポート事業の実施方法を見直すとともに、現在の学童クラブ運営を継続しながら、国が「新・放課後子ども総合プラン」において示している学校の余裕教室を活用した事業運営について、調査研究していく。

1.基本項目	作成部署	子ども家庭部		児童青少年課		
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00 児童館事業の充実	昭和 57 年	継続	自治事務	直営	○	
01	年					
02	年					
03	年					
04	年					
05	年					
関連課						
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち	施策区分	4	子ども・若者	管理No.	3	

2.事業の概要

施策の基本方針	子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう支援します。
事業内容	子どもの活動を支える中心的施設である児童館で実施する各種事業や各種機器・設備の充実に努めるとともに、経営形態や運営方法について検討・充実するなかで、子どもの居場所を確保していきます。
根拠法令	
条例	羽村市児童館条例
要綱等	羽村市児童館条例施行規則

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	児童館の管理・運営 3館	同左 3館	同左 3館	同左 4館
	杏林大学連携事業の実施	同左	同左	同左
	プロジェクトチームによる運営方法の検討	同左 ※事業を検討する中で事業費を算出	検討結果の反映	

4 投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120H	1人	120H	1人	120H	1人	120H
主事・主任職	1人	480H	1人	480H	1人	480H	1人	480H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	33,086	34,337	-	-
人件費(係長職)	577	577	577	577
人件費(主任・主事職)	1,515	1,515	1,515	1,515
総事業費(合計)	35,178	36,429	2,092	2,092
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	35,178	36,429	2,092	2,092
財源内訳(合計)	35,178	36,429	2,092	2,092

③コスト計算

ア 市民	55,565	人における1人あたりのコストは、	656	円
イ 対象者	9,121	人における1人あたりのコストは、	3,994	円
ウ 成果(物)		の 出来高		における1
				のコストは

※ 対象者：平成31年4月1日の青少年人口(0歳~18歳)

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
-------------------------------	-------------------------------	-----------

②活動実績

児童館の施設修繕(東児童館の照明設備修繕)を実施。
杏林大学との連携事業として、令和元年9月26日に研修会を実施し、児童館職員3名が参加した。
「児童館及び学童クラブ事業の運営について充実のための運営方法の検討会」を7月と9月に2回開催し、労務管理を中心とした業務委託を検討したが、費用対効果を鑑み、これまでと同じ運営形態を継続するとの結論に至った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	34,337	▲ 3,094	31,243	29,872	95.6%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	120 H	1人	120 H
主事・主任職	1人	480 H	1人	480 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○児童館の管理・運営 ○杏林大学連携事業の実施 ○運営方法の検討		○児童館の管理・運営 ○杏林大学連携事業の実施 ○運営方法の検討

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要)当(性)性 <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法)率(性)性 <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果)効(性)性 <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input checked="" type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

年間を通じて各児童館の特徴を活かした様々な事業を実施することで、子どもたちの遊びによる育成に寄与し、子どもの居場所を提供することができた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き、地域における子供の安全な遊び場として、子育て支援の拠点としての機能の充実を図るとともに、感染症防止対策を講じた事業の実施方法について検討していく。

1.基本項目	作成部署	子ども家庭部 児童青少年課			
事業名	開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 放課後子ども教室の推進	平成 23 年	継続	自治事務	直営	○
01 ボランティアの協力による放課後子ども教室の運営	年				
02 ボランティア参加への呼びかけ	年				
03 コーディネーター体制の充実	年				
04	年				
05	年				
関連課					
基本目標1 生涯を通じて学び育つまち	施策区分	4	子ども・若者	管理No.	4

2.事業の概要

施策の基本方針	子どもや若者が、社会の一員として、心豊かで健やかに成長するよう支援します。
事業内容	放課後子ども教室を推進するため、地域の協力を得て、見守りや自主的な活動を支援してまいります。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市放課後子ども教室実施要綱

3.実施計画

Plan【計画】	平成30年度(現況)	3か年計画		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業内容 事業量等	ボランティアの協力による放課後子ども教室の運営 小学校7校	同左 小学校7校	同左 小学校7校	同左 小学校7校
	ボランティア参加への呼びかけ	同左	同左	同左
	コーディネーター体制の充実(地域との連携強化等)	同左	同左	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成30年度(現況)		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50H	1人	50H	1人	50H	1人	50H
主事・主任職	1人	300H	1人	300H	1人	250H	1人	250H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成30年度(現況)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業費	7,504	10,182	10,182	10,182
人件費(係長職)	241	241	241	241
人件費(主任・主事職)	947	947	789	789
総事業費(合計)	8,692	11,370	11,212	11,212
国庫支出金				
都支出金	3,765	4,606	4,606	4,606
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	4,927	6,764	6,606	6,606
財源内訳(合計)	8,692	11,370	11,212	11,212

③コスト計算

ア 市民 55,565 人における1人あたりのコストは、 205 円
 イ 対象者 1,011 人における1人あたりのコストは、 11,246 円
 ウ 成果(物) の出来高 における1 のコストは 円
 ※ 対象者: 放課後子ども教室登録人数(R1. 5)

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

小学校全校で実施しており、年11回放課後子ども教室運営委員会を実施した。(3回新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できず)
 また、ボランティアの確保のため、連絡会議及び運営委員会での呼びかけを行うとともに、広報紙及び市公式サイトへの記事の掲載、シルバー人材センター及び社会福祉協議会、ゆとりぎにチラシの配布を依頼した。
 2年に1回実施するアンケート調査を実施した。
 今年度から、羽村西小学校が週1回から週2回開催となった。
 全校週2回開催を目指し、学校と協議した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	10,182	▲ 800	9,382	8,158	87.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	50 H	1人	50 H
主事・主任職	1人	300 H	1人	300 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○ボランティアの協力による放課後子ども教室の運営 小学校7校 ○ボランティア参加の呼びかけ ・連絡会議の実施 年1回 ・運営委員会の実施 各校年2回 ○コーディネーター体制の充実(地域との連携強化等) ・連絡会議の実施 年1回 ・運営委員会の実施 各校年2回		○ボランティアの協力による放課後子ども教室の運営 小学校7校 ○ボランティア参加の呼びかけ ・連絡会議の実施 年1回 ・運営委員会の実施(小学校4校年2回及び3校年1回実施) ○コーディネーター体制の充実(地域との連携強化等) ・連絡会議の実施 年1回 ・運営委員会の実施(小学校4校年2回及び3校年1回実施)

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

小学校全校で、ボランティア等の地域の協力を得て実施しており、子どもたちが心豊かで、健やかに成長するための支援に取り組んでいる。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

放課後子ども教室の全校週2日開催に向けて、引き続き学校と協議を進め、遊具の補充やボランティアを活用し、事業の充実を図っていく。
 ボランティアの発掘を積極的に行っていくとともに、募集方法についても研究していく。